

株式会社日本農業サポート研究所 令和2年度事業実績

年	月	事業内容
2020年	4月～ 2021年3月	コンソメンバーになっている「浜松市中山間地スモールスマート農業実証コンソーシアム」「三重県スマート水田農業コンソーシアム」などの実証試験が行われ、作業時間集計などを担当した。
	6月下旬	栃木県宇都宮市で、「普及指導活動研究会」が開催され、栃木県内の普及職員約70名が参加し、代表が講師を務めた。
	7月下旬	滋賀県でスマート農業担当の普及指導員に対する研修会が開催され、約30名が参加され、代表が「スマート農業の進展と今後の普及活動」と題して、ビデオ会議システムZOOMを使い、東京からオンラインで話題提供した。
	8月下旬	2019年度JICA課題別研修「稲作技術向上」で、「農家支援のためのICT活用」について、代表が講師を務めた。
	11月上旬	三重県で、スマート農業に関するワーキンググループの中間検討会がオンラインで開催され、中央普及センター農業革新支援専門員、各地域普及センター職員など14名が参加された。代表が「普及活動でスマート農業にどう取り組むか」と題して、ビデオ会議システムZOOMを使い、東京からオンラインで話題提供し、その後参加者と情報交換した。
	11月上旬	福井県丹南農林総合事務所の仲介で、越前市の農事組合法人 まっきーの杜に対して、米などの販売方向についてコンサルを行った。
	2月上旬	長野県普及活動研究会で、「スマート農業の推進に向けて普及指導員が果たすべき役割」と題して、代表が講演した。研究会は、参加者120名以上と盛況だった。
	12月中旬	青森県上北地域県民局地域農林水産部主催で、スマート農業推進セミナーがサンロイヤルとわだ2階雲龍の間で開催され、代表が、「スマート農業技術を経営に活かす」と題して講演を行った。
2021年	2月下旬	福島県いわき市のアクアマリンパーク 小名浜美食ホテル潮目交流館で、「スマート農水産業・先端技術体感フェア in いわき」が開催され、代表が、「スマート農業を経営に活かす」と題して、東京からオンラインで講演を行った。
	3月上旬	福井県で「令和2年度 福井県普及活動高度化研究大会(兼 普及活動外部評価検討会)」がNOSAIふくい(鯖江市)で開催され、代表が審査員として出席した。